


施設名	下関市水道施設		 <p>出典：中国建設弘済会HP</p>  <p>出典：下関市HP</p>						
所在地	山口県 下関市								
管理者等	下関市								
施設種類・分野	堰								
施設概要 (明治期との関連含む)	<p>明治29年に水道調査委員会が組織され、先の調査報告書に基づいて大阪市水道工師長の滝川劔二が水源地を内日村一の瀬、浄水場を関後地村(現・丸山町他)にした実施計画書を作成。こうして石川による上水道敷設計画から15年を経た明治39年(1906)3月、ようやく下関に近代水道施設が完成しました。高尾浄水場には緩速ろ過池3池、配水池2池が築造され、市内への給水が開始されました。岡山市に続く全国で9番目となる近代水道の誕生でした。(文献2より抜粋)</p> <p>明治期築造施設：文化財9施設のうち6施設 高尾浄水場(4号円形濾過池、4号円形濾過池付設調節井、着水井、配水池)、内日第一貯水池取水塔、内日貯水池事務所</p>								
築造時期	明治後期			時期詳細	明治39年				
関連人物	英国人技師W・K・バルトン、大阪市水道工師長 滝川劔二								
関連企業	-								
トピックス (特徴的エピソード)	平成18年、下関市は水道給水100周年を迎えました。現在全浄水量の82%は急速ろ過の水道水ですが、高尾浄水場の円形ろ過池や調節井は今も現役で緩速ろ過方式をとっているため、約2割の水は建設当時と変わらぬ味わい深い水をつくりだしています。(文献2より抜粋)								
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産(土木学会)	-	文化財(文化庁)	登録有形文化財(建造物)	近代化産業遺産(経産省)	-	世界遺産(ユネスコ)	-
その他 (関連資料、文献)	<p>文献1：土木学会 日本の近代土木遺産(改訂版)</p> <p>文献2：中国建設弘済会アーカイブス (http://www.ccba.or.jp/archives/pdf/66.shimonosekisuido.pdf)</p>								
管理者等のHP (URL等)	下関市 http://www.city.shimonoseki.lg.jp/www/contents/1246337100163/index.html								